

パワハラ 6類型クイズ

第1話

労働問題ケーススタディ
紙芝居

社員研修マンガ教材



A君

こちらは、A君です。

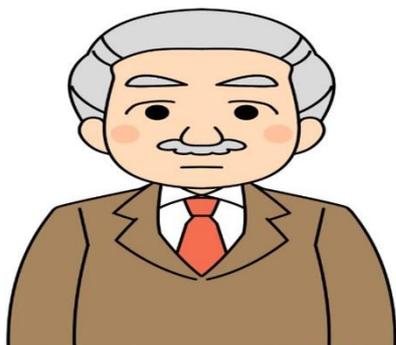
A君は、転職活動をしていたものの、なかなか希望の仕事が見つからなかった中、ようやく、希望していた、とある中小企業の営業の仕事に就職することができました。



『いやー、転職活動に結構時間がかかってしまったけれど、ようやく希望する会社に就職することができた。あー、よかった。今日から、この会社で、営業のお仕事、がんばるぞ。今まで営業の仕事はやったことないけど、一生懸命頑張ろう』



『それにしても、聞いたところによると、なんだか営業部の部長さんはすごく怖い人らしくて、スパルタ上司らしい。気をつけて頑張らないとな。よし、とにかく、ちゃんと空気を読んで頑張るぞ』



B部長

他方、こちらはBさんです。Bさんは、この会社の営業部の部長さんでした。このB部長の指導は、スパルタ指導で有名でした。そんな中、ある日のことです。B部長がA君に話しかけました。



『おう、君が今回、新しく入ってきたA君か。まあ頑張ってくれや。それにしても、ちょっと君の仕事を見ていると、君はちょっと声が小さいのう。それに、もっとハキハキして喋らないと、お客さんへのあいさつ回り・営業回り・商品説明・質問の受け答えなど、好印象をもってもらえんぞ。よし、これは、練習が必要だな。よし、ちょっとこっちの部屋に来なさい』

倉庫部屋

こうして、A君は、B部長に別室に連れて行かれました。そこは通称、倉庫部屋と言われている、倉庫として使っている小さな部屋の中に、一組の小さな机と椅子が置いてある部屋でした。



『よし、今から、徹底的に特訓をするぞ。まずは声出しからだ。声出しは営業の一番の基本だ。大きな声を出せるようになる必要がある。声出しをしてから、挨拶の練習・営業のロープレ・商品説明・質問の受け答えなどなど、ここで徹底的に特訓するぞ。』

『じゃあ、まずは、おはようございます！！』



『お、おはようございます・・・』



『声が小さい！おはようございます！！』



『おはようございます・・・』



『声が小さいぞ。練習で声が出てないなら本番ではもっと出ないぞ。そんなんじゃ、お客さんに好印象を持ってもらえないぞ。もう1回だ、おはようございます！！』

このようにしてB部長による、A君の特訓が1時間、続きました

1か月後

それから、1か月後のある日のことです。
B部長は、営業部のメンバーの営業成績を確認していました。



『うーん、新しく入ってきたA君、全然、売上を上げていないぞ。入社してから、まだ1件も仕事が取れていない。今まで入ってきたどの社員さんだって、入社した月でも、最低3、4件は仕事を取って来たのに、このA君は1件も取って来なかった。こんな社員さんは、今までで初めてだ。

私の指導がまずかったのだろうか』



『うーん、でも、その前に、そもそも、A君にはあれだけ、大きな声で挨拶すること、ハキハキしゃべることを指導したのに、結局、翌日からまた元に戻ってしまっていた。まったく、ワシの言うことを聞こうとしない。これじゃあ、仕事を取って来れないのも当たり前だ。会社にまったく貢献していないのに、給料だけもらっていて。まったく』



『なんだか、考えみたらどんどん頭に來たぞ。よし、ちょっと頭に來たから、あいつはもう、逆に倉庫部屋に隔離して一人にして、誰とも関われないように、孤独にさせて、反省させてやろう。よし、じゃあ、あいつは2日間、倉庫部屋に閉じ込めてやる。そうすれば、営業の活動ができるありがたみがわかるじゃろう』



こうして、B部長は、A君に話しかけました。

『おい、A君、君は入社して1ヶ月経ったのに、未だに1件も仕事を取れていないぞ。いったい何をやっ取るんだ。どんな社員さんでも、入社した月に、最低、3、4件は仕事を取ってくるぞ。1件も取って来れなかった人なんて、この20年間で、1人もいないぞ。それに、きみは、大きな声で挨拶をしろと言ったのに全くやろうとしない』

2日間特訓

『そこで、君は、もう一度、特訓のやり直しだ。今日から2日間、営業回りにはいかずに、倉庫部屋で、一人で声出しからロープレから、特訓しておきなさい。この2日間は社内の誰とも、関わることを禁止する。人と関わるヒマはない。一人で、孤独になってやるように』



『え、ええー！！そんな、許してください。一生懸命がんばりますから。営業回りに出たいんです。お願いします』



『いーや、許さん。君は2日間、倉庫部屋で特訓だ』



『そ、そ、そんなー』

1か月後

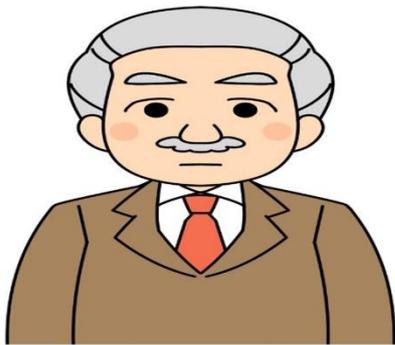
それから1ヶ月後のことです。その後、A君は一生懸命頑張ったものの、やはり1件も仕事を取ってくることはできませんでした。

すると、B部長は、またもや、内心、心の中で、こんな風に思っていました。



『なんと、あのA君、結局2ヶ月経っても1件も仕事を取って来なかった。2ヶ月まるまる給料だけもらって、会社に何の貢献もしなかったとは、こんな社員さんは今まで初めてだ。なんだか、考えてみると、ますます頭にきたぞ。何か嫌がらせでもしてやろう。何が良いかな。そうだ、最近ワシの車、全然洗車していないので、汚れが増えてきたから、あいつには、見せしめに、ワシの車の洗車をさせてやろう』

こうして、B部長はA君を呼び出しました。



『あー、A君、君は、結局2ヶ月経って、給料はもらっているのに、1件も仕事を取って来ないとは、会社に全く貢献できていないと思わんかね。ワシの言う通り、大きな声出し、挨拶、ハキハキした喋り方など、全然やろうとしない。君はちょっと真剣さが足りないんじゃないかね。君にはね、罰として、私の個人の車の洗車を命じる。一生懸命、車を洗いながら、自分のやってきたことをしっかり反省するんじゃない』



『ええー、そ、そ、そんなー!!』

それから1ヶ月後のことです。

1か月後

A君は、ようやく、仕事のコツをつかみ始めました。大きな声を出して、明るく挨拶ができるようになり、ハキハキと商品説明や受け答えもできるようになってきました。すると、なんと、どんどん仕事を取れるようになり、営業成績が急上昇しました。



『やったー、やったよ。一生懸命がんばって、声出し、大きな挨拶、ハキハキとしたコミュニケーションできるようになったら、一気に仕事が取れるようになったよ』

他方、B部長は、内心、心の中で、こんなふうに思っていました。



『うーん、びっくりだ。A君が、今月はなんと仕事20件取ってきたぞ。あっという間に、営業部のエースになってしまった。ここ最近で、1か月で20件の仕事を取ってきた人間なんて全くいなかった。ありがたいことだ。そうすると、ワシはどうすべきかな。うーん、やはり、結果を出したことはしっかりと承認して褒めてあげるべきだ。もしかすると、彼には営業の才能があったのかもしれないな』



『ところで、そうすると、今後、彼をどう育成していくべきだろうか。わが社始まって以来、歴代最高の1か月20件という成果を出して彼ならば、もしかすると、もっとやれるのかもしれない。よし、もう少しだけ彼の育成のために、少し高いレベルを任せてみることにしよう』



『A君、君はすごいじゃないか。1ヶ月で20件の仕事を取って来た人なんて、今までで一人もいないぞ。わが社始まって以来の快挙だぞ、これは。君は営業部のトップになった。そこで、君の来月のノルマだが、1か月で21件とする。難しいかもしれないが、可能性はあり得ると思っているので、がんばるように』



『え、ええー！！部長、さすがに、無理ですよ。20件取れたのは限界ギリギリでやった結果ですから、もうこれ以上は絶対に無理です』



『いいや、君ならできる可能性がある。もしかしたら、君にはものすごい才能があるのかもしれない。だから、君の今月のノルマは21件とする。以上だ』



『えー、そ、そ、そんなー!!』

1か月後

それから1ヶ月後のことです。A君は、ノルマを21件と設定されてしまい、逆にモチベーションが一気に無くなってしまいました。その結果、せっかく、できるようになっていた、明るく大きな声での挨拶・コミュニケーションなど、できていたものが全くできなくなってしまい、なんと、また営業成績が0件に戻ってしまったのです。



『うわー、やっちゃったよー』

その後、ある日のことです。B部長は、こんなふうに思っていました。



『うーん、A君、なんとまた元に戻って、仕事を取れなくなってしまったとは。私も焦ってしまったのだろうか。彼にも悪いことをしてしまった。仕方ない、彼のノルマは、もう逆に一気に下げて、来月はもう一旦、3件だけでいいから、3件だけで仕事を取ってくれば、あとはもうゆっくり休んでよいから、倉庫部屋でも自由に使って、ゆっくり、声出し・ロープレなど、練習してもらおう』



『おう、A君、すまん。ちょっと君のノルマ設定を高く設定し過ぎてしまったようだ。そこで、逆に、来月は、ノルマは少なくして、3件だけにする。それで、後の時間は、自由に使ってよいから、もう休み休みやってくれてよいから。また以前と同じように、倉庫部屋を一人で自由に使ってよいから、明るく大きな声で挨拶やロープレなど、練習しておくように』



『あ、ありがとうございます。3件なら全然、行けます。助かります。倉庫部屋使ってよいんですね。ありがとうございます』

こうして、A君は倉庫部屋に移りました。



『ふー、先月はノルマ 21 件なんて言われて、絶対無理だから、一気にやる気なくなっちゃったけど、今月は3件でよいなら全然楽勝だな。これなら、今月の終わりに1日だけ働いて、あとはもうずっと、ここでのんびり休めるな。あー、よかったよかった。頑張った甲斐があったなあ』

こうして、A君は、今月は毎日出勤しては、倉庫部屋でダラダラ過ごしていました。ときには、居眠りを繰り返していました。この様子を見たB部長は、さすがに緩くし過ぎたかもしれないと思いつつも、もうしばらく休ませてあげればまたやる気が出るだろうと思い、見守っていました。

ダラダラ

抜き打ち チェック

ところが、2週間経っても、A君はずっと、ダラダラと毎日を過ごしていました。この状況に、さすがのB部長も我慢の限界に達し、ある日突然、倉庫部屋を抜き打ちで、チェックに行きました。

ティッシュ箱

すると、なんと、A君が机で爆睡していました。これを見たB部長は、急激に頭にきてしまいました。そばにあったティッシュ箱をA君の足元に向かって投げつけました

飛び起きた

するとこのティッシュ箱はA君に当たらなかったものの、A君の足元で、大きな音がしてA君は驚いて飛び起きました



『おい！！A君、君は何をやっとるんじゃ。爆睡しとるんじゃないぞ』



『す、すみません、つい居眠りしてしまっておりました、すみません』



『全く君というやつは、少し心配になってノルマを緩くしてみたら、だらけにだらけきつとるじゃないか、全く、しっかりしたまえ。』

罰として、君にはこの倉庫部屋の荷物整理の仕事を君に任せる。あと3日間で、この散らばっている荷物を全部綺麗に、整理整頓するんだ、わかったか？』



『はい、わかりました、急いで、倉庫整理をします』

3日後

それから3日後のことです。B部長が倉庫部屋に行くと、A君がせっせと荷物整理をしていました。



『おう、A君、結構、片付いてるじゃないか。すごいじゃないか。ありがとうね。これならあと少しで終わるな。よし、ワシも手伝おうじゃないか。よいしょ、よいしょ』

そんな中、B部長が手伝い始めて10分後のことです。

10分後

A君は重い荷物を運んでいました。

『よいしょ、よいしょ』

そのときのことです。

ドン！！と大きな音がしました



『うわー、あ、いたたたたた』

転倒

なんと、このとき、A君とB部長は、お互いに後ろを向き合って作業をしていたため、相手の状況に気づかず、AさんとB部長がぶつかってしまい、その反動でA君だけが転倒して頭を打ってしまいました



『おお、A君、すまん、ぶつかってしまったね』



『いえいえ、私の方こそ、気づかず、すいません、いててててて』

このとき、A君は、転倒して頭を打った際に、バランスを崩して、足をひねってしまい、足を怪我をしてしまいました

さてクイズです

以上の物語のなかで、パワハラ6類型の関連で、何が問題だと思えますか？

(参考)

- ① B部長がA君を1時間倉庫部屋で特訓したこと
- ② B部長が、A君が2日間、倉庫部屋に一人でいるように命じたこと
- ③ B部長が個人所有の車の洗車をA君に命じたこと
- ④ B部長がA君のノルマを1か月21件にしたこと
- ⑤ B部長がA君にティッシュ箱を投げつけたこと
- ⑥ B部長がA君にぶつかってA君が足を怪我したこと

クイズ

<参考>

パワハラ防止法施行、パワハラ防止措置義務の全企業への義務化に伴い、パワハラ研修のニーズが高まっております。そこで、今回は、パワハラ防止指針を参考に、パワハラ6類型に関するクイズを制作しました。様々な意見があるところですので、あくまで一つの見解として、参考になれば幸いです(この物語は制作時点の情報に基づくものであり、法令改正・判例変更等の可能性がありますので最新情報をご確認ください)。

